

言
土木學會誌 第六卷第一號 大正九年二月

都市計畫ニ就テ

(第五卷第五號所載)

會員工學博士坂岡末太郎

都市計畫ノ問題ハ其利害ノ及フ所單ニ一都市一町村ニ限ラルモノニアラサルナリ從ツテ之レカ解決如何ハ獨リ一地方ノ盛衰ニ大關係ヲ有スルノミナラス推シテ以テ國家ノ盛衰ニ大關係ヲ來ス事トナルナリ歐米各國ニテ近時大ニ之レカ計畫ニ熱中スルニ至リタルハ決シテ閑人ノ消暇企業ニアラシテ人道ノ興廢ト國家ノ隆替トニ絶大ノ關係ヲ有スルカ故ナリトス記者モ亦夙ニ茲ニ見ルアリ歐米留學中ハ自己ノ専門以外暇アレハ則ハチ之レカ實況ヲ調査シ視察シテ以テ幾分ナリトモ將來邦國ニ資スルアランヲ期シタリキ蓋シ此問題タル著者ノ明記スルカ如ク各方面ノ知識ヲ集メテ調査研究スキハ勿論ナルモ其最モ直接ノ關係ヲ有スルモノハ土木學者及建築學者タル可キヲ以テ我邦土木學者モ業已ニ此問題ニ關シテ調査研究ヲ重ヌ可カリシニモ關ラス其今日ニ至ル迄何等有力ナル議論ヲ土木學者ノ口ヨリ聞ク能ハサリシハ實ニ怪訝ニ耐ヘサル所ニシテ唯曩キニハ片岡工學士ニヨリテ僅ニ其研究ノ一端ヲ發表スルニ過キサリシハ邦國ノ爲メ實ニ遺憾ノ念ヲ禁スル能ハサル所ナリ此際偶々山田工學士ニヨリ本論文ヲ發表セラル記者實ニ砂漠旅行中林泉ニ遭フノ感ニ堪ヘサルト同時ニ邦家ノ爲メ忻喜措ク能ハサル所ナリ此際ニ當リ一言蛇足ヲ加ヘ以テ江湖ノ諸君子ト共ニ此問題ヲ考究スル穴勝無用ノ業ニアラサル可シ

山田工學士ハ重ニれうえす氏ノ現今都市計畫 (Lewis—The planning of the modern city) 及ベーカー氏都市工學及衛生法 (Baker—Municipal Engineering and Sanitation) 其他一二ノ著書ヲ參考シテ此論文ヲ草セルカ如シ然リト雖モ其掲ケ

タル統計ハ重ニ日本ノ六大都市ニ取リタルカ故ニ本邦現在ニ其論述ノ適切ナルノミナラス六大都市計畫ニ對スル基礎的材料ヲ江湖ニ紹介セルカ故ニ讀者ヲ利スル莫大ナルヲ確信スルナリ此際ニ當リテ唯學士並ニ江湖ノ諸君子ニ注意ヲ乞ハントスルハ自己ノ調査研究ニアラサルモノヲ記述スルノ際ハ必ラス其出所ヲ明記スル事ニアルナリ何トナレハ何事ニヨラス調査研究ハ自己一人ノ專有タル可キモノニアラスシテ廣ク江湖ト共ニ之ヲ重ヌ可キモノナルヲ以テ記述ノ出所ヲ明ニスルハ獨リ同攻者ヲ利益シ便ニスル大ナルノミナラス同時ニ原著者ニ敬意ヲ拂フノ一方法タレハナリ然ルヲ本邦ノ學者ハ自己ノ調査ニアラサルモノヲモ何等ノ斷ハリナクシテ之ヲ世間ニ發表シ以テ自己ノ調査ナルカ如ク裝フモノ往々ニシテ然ルヲ見ルヲ以テ此點ニ關シテハ御亘ニ注意アリ度キモノト思惟スルナリ

都市計畫ノ意義

著者ハ都市計畫ニ就キ種々ノ定義ヲ紹介シ最後ニ都市計畫法第一條ヲ紹介シテ次ノ如ク述ヘタリ

本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通、衛生、保安、經濟ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ增進スル爲メノ重要施設ニシテ市ノ區域内ニ於テ又ハ其區域外ニ亘リ執行ス可キモノヲ謂フ

著者ハ本條ヲ全然是認シ居ルヤ否ヲ知ラス然リト雖キ何等本條ニ意見ヲ挿マサルカ如キヨリ之ヲ見レハ少クモ著者ハ此條項ニ何等不完全ヲ認メサルヤ明ナルヲ信ス然リト雖モ記者ヲシテ云ハシメハ本條文ニ尙數字ヲ加入訂正セサレハ現今ノ都市計畫ト其意義ヲ異ニスルノ嫌ナキニアラサルカラ疑フ以下少シク疑問ノ點ヲ摘記シテ江湖ノ高教ヲ仰カントス現今ノ都市計畫ハ都市ノ美化（Beautification）ヲ以テ其目的ノ有力ナルモノノ一トセリ都市ノ美化ナクシテ茲ニ交通ナキナリ衛生ナキナリ保安ナキナリ經濟ナキナリ都市計畫ニ交通、衛生、保安、經濟ニ關スル諸般ノ施設ヲ含有スルハ固ヨリナルモ都市ノ美觀ニ關スル施設ハ最モ有力ナル一要素ナリトス然ルヲ本條文ニハ何等美觀ノ意義ヲ含有セサルノミニラス強テ本文ヨリ之ヲ附會セントスルモ之レヲ成スニ由ナキヲ覺フ知ラス日本ノ都市計畫ニハ美觀ニ關スル施設ヲ無視スルカ故カ記者ハ歐米ニ於ケル都市計畫ヲ實見シ調査シ研究シ之レヲ本邦ノ計畫ト對照シテ勞頭第一ニ此點ニ相違ア

ルヲ見テ轉々怪訝ニ耐ヘサル所ナリ

都市計畫ノ意義ニ關シテハ著者又ハれうえす氏ノ摘記スルカ如ク種々ノ提供ヲ諸家ニ見ルト雖モ其意義餘リニ抽象的ニシテ捕捉ニ苦シムモノ多ク本邦都市計畫法第一條ノ如ク能ク之ヲ具體化セルモノハ極メテ寥々ナリ然リト雖モ之ヲ具體化セルノ結果ハ其包容ニ局限ヲ來シ能ク萬般ニ應用シテ何レニモ婉曲適合スルノ自由ヲ有セサルニ至レリ故ニ記者ハ美觀ノ二字ヲ挿入シテ從來ノ文意ヲ擴大セント欲スルモノニシテ之レニヨリテ愈々明カニ都市計畫ノ意義ヲ明確ニシ得ルヲ信スルカ故ナリトスれうえす氏ハ都市計畫ノ意義ヲハ次ノ如ク説明セリ

都市計畫トハ單ニ都市及郊外ノ秩序的及美觀的發達ヲ進ムル先見的ノ施設ニ過キスシテ衛生、愛觀、便利及商業、工業ノ進歩ニ對スル適當ノ方法ヲ考究スルヲ目的トス

云々ト記セルハ則チ能ク其意ヲ盡クセルモノニシテ都市計畫ヨリ美的施設ヲ除去セハ最早都市計畫ノ意義ノ大半ハ消滅セルモノト見做ササルヘカラス

都市計畫者ノ盛ニ賞揚スル理想的都市ナル華盛頓ノ現今都市中ニ霸ヲ唱フル所以ノモノハらんふあん氏 (L'Enfant) ノ奇才ナル其能ク天然ノ美ヲ利用シテ之レカ美化ニ務メタルノ結果ナラスンハアラスばかり市ノ如キペルりん市ノ如キモ亦都市計畫者ノ理想トスル所ナルモ其能ク範型タル所以ノ一因ハ市街ヲ美化セルカ故ナリトス交通機關ノ配置ノ如キ其構造式法ノ如キ都市ノ美觀ト離レテ何ノ意義カアル家屋ノ構造、高サ、方式ノ如キ都市ノ美觀ト離レテ何ノ意義カアル市内運河ノ配置、河川ノ疏通、橋梁、隧道ノ構造等都市ノ美觀ト分離シテ果シテ理想的ナルヲ得ルカ都市中心 (Civic centre.) ノ配達、田園市街ノ配置構造等都市ノ美觀ト分離シテ果シテ理想的ナルヲ得ルカ若シ夫レ並木ノ選擇、植法、紀念碑、銅像、公園、遊園ヲ設クルニ當リテハ大部分美觀ヨリ之ヲ決定ス可キモノニシテ上水下水ノ構造配置等ニ至リテモ亦美觀ヲ無視シテ之ヲ設クル能ハサルナリ美觀ノ都市ニ必要ナル如此トセハ都市計畫法第一條ヲハ次ノ如ク訂正スルヲ可ナリトセスヤ

本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通、衛生、美觀、保安、經濟ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又福利ヲ增進シ美感ヲ促進スル爲ノ重要施設ニシテ市ノ區域ニ於テ又ハ其區域外ニ亘リ執行ス可キモノヲ謂フ

文辭ノ推敲ハ之ヲ措キ以上ノ意味ニ訂正スルヲ最モ適當ナル定義トナスニアラサルカ

公園及遊園

此問題ニ關シテハ論述セント欲スル事項多々アルモ記者ハ詳細ニ此問題ヲ論述スルヲ避ケ單ニ一二疑問ノ點ヲ摘記シテ著者及江湖諸君子ノ高教ヲ乞フニ止ム可シ

著者ハ公園ノ面積ヲ市面積ノ5%位ニ増加スルヲ要スト提案セリ記者ハ其論據ノ何レニアルヤヲ詳ニセスト雖モ華盛頓ヲ以テ標準トセルニアラサルヤヲ想フナリ此種ノ率ニ關シテハ歐米各市其揆ヲ一ニセサルハれうえす氏著書又ハ著者ノ掲ケタル第十三表ニヨリテ明カナリ全市皆公園ノ稱アル巴里市ノ如キハ26%ノ高率ニ上ルト雖モ他ハ漸すとん市ノ13%ばるちも一あ市ノ12%ヲ除キテハ各市ヲ平均シテ略5%ナルカ如シ記者ハ何等著者ノ提案ヲ否認スルノ理由ヲ有セサルハ勿論ニシテ成シ得可クンハ5%以上ノ率ヲ有スル面積ナルヲ欲スト雖モ東京市ノ如キ舊都市ニアリテハ地積ヲ得ルノ困難アリ假令亦其困難ナシトルモ本邦人ノ習慣其他ヨリ考察シテ歐米同様ノ面積ヲ要セサルニアラサルカヲ疑フモノナリ以下少シク之ヲ述ヘン

記者ハ家屋ノ構造ト生活上ノ相違ト習慣上ノ相違ト氣候ノ關係等ヨリ之ヲ考察シテ公園ノ利用ニ關スル程度ハ本邦人ト歐米人トニ大ナル逕庭アルヲ信スルモノナリ

歐米ノ都市ニハ平屋建ノ家屋ハ極少ナリ就中紐育、市俄古市等ノ如キニ至リテハ高キハ五十餘層ノ高樓ニ及ヒ低キモ四五層ヲ下ラナルナリ歐洲ニテハ法律ヲ以テ家屋ノ高サヲ制限シ居ルカ故ニ左程ノ高屋ヲ見スト雖モ尙七八層ヲ普通トスルナリ翻ツテ之レヲ本邦都市ニ見ハ如何、六大城市ヲ平均セハ恐ラク二階建數ハ平屋數ト大差ナカル可キヲ信ス換言セハ歐米ニテ家屋ヲ堅ニ延ハサント欲シ本邦ニテハ之ヲ横ニ延ハサント欲スルモノニシテ横ニ延ハスノ結果ハ目ヲ樹木

花卉ニ曝ラスノ自由アリト雖モ堅ニ延ハスノ結果ハ益々是等ニ遠カル事トナルナリ然リト雖モ人生ニハ一日モ草木ナカルヘカラス歐米ノ高樓ニ住居スルモノハばるこん内ニ二三ノ草木ヲ植ヘ若シクハ植木鉢ヲ置キテ僅ニ目ノ餓ヲ防クノ方策ヲ採ルアルモ其遂ニ之レニ満足スル能ハサルナリ勢ヒ公園ニ至リテ自然ノ綠色ニ目ヲ飽カサンハ止マサルニ至ルモノニシテ人生自然ノ綠色ヲ要求スルノ結果タラスンハアラス本邦ニテハ家屋ヲ横ニ延スカ故ニ草木ニ接スルニハ何等ノ不自由ナク市街熱鬧ノ地ニ住居スルモノト雖モ尙幾分カノ庭園ヲ裏地ニ設タルノ便アリテ市街ノ中心ヲ離レテ住居スルモノニアリテハ尙更其便ヲ得ルナリ從ツラ歐米人ノ公園ヲ利用スル程本邦人ハ公園ヲ利用スルノ必要ナキナリ

歐米ノ家屋内部ハ各室間仕切ナルヲ常トス即ハチ一室一室ニ劃然獨立スルヲ常トシ決シテ本邦家屋ノ如ク開放的ナラナルナリ故ヲ以テ冬期ニハ防寒上申分ナキモ夏期ニハ到底家居スルニ堪ヘサンナリ即チ各室皆密閉的ナルノ結果換氣上ノ便少ナク夏時ノ冷風アルモ之ヲ納ルルニ由ナキナリ然レハ則チ公園ニ至リテ自由ニ天然ノ惠風ニ沐セント志スハ之レ自然ノ傾向ニアラサルカ

本邦人ハ兎角出無性ナリ四疊半ノ畳室ニ寢轉スルモ寧ロ外出ヲ厭フノ傾向アリ日曜ヲ利シテ公園ニ散策スルヨリハ寧ロ訪問ノ客ト共一一日ヲ一杯酒ノ間ニ費スヲ望ムノ傾向アリ其茲ニ至リシ原因ハ暫らく之ヲ措キ之ヲ歐米人ノ務メテ外出的ナルニ比スレハ宵壤ノ差アリト云ハサルヘカラス本邦從來ノ都市ニテハ公園ノ設備ハ極メテ不完全ニシテ何等公園タルノ實質ヲ備ヒサリシヲ以テ止ムナク家居的生活ヲ取ルニ至リ習ヒ性トナリテ今日尙之ヲ利用セサルヤモ計リ難キモ兎角之レカ利用ニ關シテハ歐米人ノ夫レニ比シテ大差アルハ一度歐米ニ遊シテ公園利用ノ實況ヲ見ハ明カナリ

更ニ氣候ノ點ヨリ之ヲ見ルニ本邦位雨量ノ多キ國ハナク雨天ノ數多キ洲ハナキナリ本邦ノ梅雨ハ歐米ニハ之ヲ見サルナリ歐米人ノ散策ニハ雨傘ヲ携帶スルコト極稀ナリ從ツテ散策ノ愉快ヲ破ラルヽノ恐少ナキナリ記者ハ歐米留學中ハ未タ曾テ一回モ雨傘ノ必要ヲ感セシコトナキニ微スルモ如何ニ雨量ノ少ナキカヲ知ルニ足ル夫レ如此公園利用ノ繁キモ亦宜ナリト云フ可キナリ

公園ノ利用程度以上ノ如シトセハ外國ノ面積率ヲ以テ律スルハ少シク考慮ヲ要スルノ問題ニアラサルカ少クモ本邦今日ノ家屋ト本邦人ノ習慣ト氣候トヲ改良スルニアラサレハ永久ニ歐米同様ノ地積ヲ要セサルモノニアラサルカト思惟スルナリ習慣ハ之ヲ改良シ得可シ家屋ハ之ヲ改造シ得可シ唯氣候ノ改良ニ至リテハ現今ノ科學ニテハ之ヲ如何トモスル能ハサルナリ從ツテ利用ノ程度ハ之ヲ歐米ニ比シテ永久ニ劣ルヲ免レサルモノト思ハルルナリ

歐米ニテハ莫大ノ面積率ヲ公園ニ取ル所以ノモノハ其他ニモ源因アリ即チ公園ヲ以テ感化所トシ知育養成所トシ德育、體育上ノ養成所トスルカ故ナリトス

本邦ニハ未タ勞働者ノ幼兒預所ナルモノ少ナシ勞働者ハ幼兒ノ爲メニ勞働出來サルカ如キアラハ直ニ其生計ニ窮セサルヲ得ス勞働者ヲシテ生活ニ窮スルナカラシメ幼兒ノ養育ニモ何等不都合ナカラシメンニハ幼兒預所ヲ設ケテ之レカ解決ヲ務ムルヨリ外ナキナリ吾等ノ公園ニ散策スル毎ニ無數ノ幼兒ハ保姆車ニアリテ嬉々トシテ樹蔭ニ笑ヒ或ハ罪ナキノ眠ヲ花下ニ貪ルヲ見ルハ則チ保姆ノ看護下ニアルノ實況ナリトス即チ歐米ニテハ公園ハ一種ノ育兒院トシテ利用セラルルヲ知ルナリ又勞働者ハ早起夕歸ヲ毎日繰返スモノナリ禮節ノ如何ハ之ヲ顧ミルノ暇ナキナリ又兒童ノ教育ニ心ヲ注クノ餘裕アキナリ生レテ勞働者ノ兒トナランカ聞ク所見ル所何等善良ノ感化ヲ受クルノ期ナキナリ不作法、粗野、無慈悲、不養生、不潔等ノ惡習ハ第二ノ天性トナリテ勞働者ノ家庭ニ充滿シツツアルナリ然リト雖モ之レカ幼兒ヲ保姆ノ監視下ニ置クトキハ何等是等ノ惡風ニ染マスシテ止ムナリ立派ナル國民ハ育上ケラルルナリ歐米ニテ公園ヲ以テ第二ノ感化院ト唱フルハ之レカ爲ナリトス

公園内ニハ動物園アリ植物園アリ博物上ノ知識ハ知識欲ノ盛ナル兒童ニヨリテ大ニ吸收セラルルカ故ニ公園ハ亦一種ノ知育場トシテ用立ツナリ若シ公園内體育的設備ニ至リテハ更ニ之ヲ詳記スルヲ要セサルナリ野球場てにす庭ごるふ場くれけゝと場氷滑場等ニ多大ノ面積ヲ提供シテ何等ノ惜色ナキナリ日暖ニ柳參々タルノ日一度公園ニ散策シ無數ノ男女ハ競技闘藝ニ餘心ナキヲ見ハ如何ニ歐米人ノ公園利用ノ繁劇ナルカヲ諒スルニ餘リアルナリ

本邦ノ公園中果シテ以上記述ノ目的ヲ有スルモノアリヤ吾人ハ實ニ之ヲ見ル能ハサルナリ上野公園、淺草公園、芝公園ノ如キ公園トシテノ價値果シテ幾何アリヤ記者ハ實ニ絶望ノ聲ヲ放ツラ禁スル能ハサルヲ遺憾トスルナリ將來公園ノ設計者ハ宜シク思ラ茲ニ致ササルヘカラス

記者ハ本論文ヲ讀ミテ胸ニ浮ヒタルノ點尙他ニ多々アルモ今ハ唯此問題ニ關シ尙一言蛇足ヲ加ヘテ以テ討議ヲ終ヘントス

公園ノ設計ニ關シモ一そん氏 (Mouson) ハ其著都市美學 (Civic art) 百六十六頁ニテ次ノ如ク記述セリ

第一 建築型 (Architectural style)

此型ハ幾多ノ記念的建物ヲ交ヘ殿堂、噴泉、柱廊 (Colonades) 彫刻物、勾欄等ノ如キ建築物ヲ幾何的ニ配列シ偶ニハ又自由ニ伸茂セル樹木ヲ背景トシ又ハ之ニ圍繞セラル型式ノ公園アリば、けんぐはむ宮殿ノ前庭園ノ如キ之レカ一例ナリ

第二 形式型 (Formal type)

るあるんはるぐ (Luxembourg) 公園しえんぐるん (Schlößpark) 在ノ宮園わるせーゆ市ノ街路等ハ皆此型ニ屬ス此型ハ建築型ノ大規模ナルモノニシテ記念的建物ヲ以テ加味スルノ場合亦少ナカラス若シ這般ノ物質ヲ缺ク場合ハ古風ノ音樂堂、茶亭、酒舗、彫刻物、列柱ヲ加味シテ大ニ趣味ヲ添フルコトモアルナリ

第三 風景型 (Landscape style)

エ里、ぱつと・じょーもん公園 (Parc des Buttes-Chaumont) ピエー・トレモー (Petit Trianon) ハ如キハ此型ノ例ニシテ天然地形起伏參差タル場合ニハ最モ適當ナリ

第四 天然型 (Natural style)

出來得ル天然ノ狀態ヲ模寫シ保存スル所ノ型式ナリ

以上四型中ニ照セハ本邦ノ庭造法ハ第三第四者ニ重キヲ置クモノニシテ第一者第二者ニハ餘マリ重キヲ置カサルカ如キモ大都市ノ大庭園又ハ公園ニハ此等數者ヲ共存調和セシムルハ則チ現今ノ大勢ナリト思惟スルカ故ニ本邦將來ノ公園設計者ハ宜シク舊來ノ箱庭的園庭ヲ嘆美スルノ風習ヲ脱却シテ現代的思想ヲ喚起シ以テ歐米各國ニ輸タサレサルノ立派ナル公園ヲ築クヲ要スト思惟スルナリ（完）